

破裂性大動脈瘤に対する緊急大動脈ステントグラフト内挿術の検討

1. 研究の対象

2012 年 10 月から 2023 年 10 月までに心臓病センター榑原病院で感染性腹部大動脈瘤に対して手術を受けた方。

2. 研究目的・方法

腹部大動脈瘤に対するステントグラフト内挿術はその低侵襲性および良好な成績から第一選択とされることが多いが、感染性腹部大動脈瘤においては人工血管置換術が第一選択とされています。

感染性腹部大動脈瘤においても低侵襲かつ迅速に治療が可能なことから全身状態などからステントグラフト治療を選択するケースも見られますがその成績は明らかではありません。

本研究の目的は感染性腹部大動脈瘤に対してステントグラフト内挿術または人工血管置換術を行った症例を後方視的に検討することで、低侵襲治療であるステントグラフト治療は積極的な選択肢となり得るのかを検証することです。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

カルテから得られる情報、病歴、治療歴、副作用等の発生状況、カルテ番号 等。

4. 外部への試料・情報の提供

外部への試料・情報提供はありません

5. 研究組織

心臓病センター榑原病院

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて病客さまもしくは病客さまの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先まで 2026 年 12 月 31 日までにお申出ください。その場合でもその後の診療など病院サービスについて病客さまに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

心臓病センター榑原病院

住所：岡山市北区中井町 2-5-1

電話：086-225-7111

担当者：心臓血管外科 高田 善章

研究責任者：心臓血管外科 平岡 有努